

## 目標及び評価規準の設定ポイント

㊤ 学びに向かう力、人間性等      ㊥ 主体的に学習に取り組む態度

### 教科別の指導

目標の設定	評価規準の内容に取り入れるポイント	
各教科の 目標及び内容	→ 主体的に 学習に取り組む 態度	① 学習活動、学習場面、学習状況など ② 主体的に学習に取り組む態度の具体（「粘り強さ」「学習の調整」「実感や自信」） ③ 児童生徒の行為（具体的な児童の姿）

#### 評価規準設定例（主体的に学習に取り組む態度）

- 図画工作 ①貼り絵の活動において、紙をちぎる、貼るなどの活動を②教師のやり方を模倣しながら、  
③笑顔を見せて取り組もうとしている。（小学部 1段階）
- 体育 ①シュートゲームの学習において、③順番を守ってボールを②進んで、③投げようとしている。  
（小学部 3段階Eボールを使った運動やゲームウ）
- 理科 ①昆虫の育て方の学習において、ザリガニの餌やりや水槽の水替えを②友達と力を合わせて行  
い、③学習後もザリガニの世話をしようとしている。（中学部 1段階A生命）

### 各教科等を合わせた指導

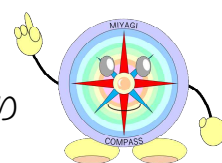
目標の内容に取り入れるポイント	→	評価規準の設定
学びに向かう力、 人間性等 ① 学習活動、学習場面、学習状況など ② 児童生徒に身に付けてほしい「学びに向かう力、人間性等」（・「自分自身に関すること、他者や社会との関わりに関すること」、・「粘り強さ」「学習の調整」「実感や自信」） （～しようとする。親しむ。豊かにする。等）		設定した単元（題材） の目標を達成した具 体的な姿（目標と評価 規準が同じになるこ ともある）

#### 目標設定例（学びに向かう力、人間性等）

- 日常生活の指導 ①朝の会に参加することを通し、②一日への希望を持つとともに、②友達と仲良く活動  
しようとする。（小学部「朝の会」）
- 遊びの指導 ①紙で遊ぶ活動において、②友達と一緒に遊ぶことのよさを感じながら、②興味を持っ  
て遊ぼうとする。（小学部「さわって遊ぼう」）
- 生活単元学習 ①進級についての学習を通し、②新しい友達や先生と一緒に生活することのよさを感じ  
ながら、②生活しようとする。（小学部「みんな友達」）
- 作業学習 ①木工の作業を通し、②自分が得意なことを知り、これからの生活に希望を持つとも  
に、②自ら進んで取り組もうとする。（中学部「木工作業」）

教科別の指導の評価規準「②主体的に学習に取り組む態度の具体」と各教科等を合わせた指導の目標「②児童生徒に身に付けてほしい『学びに向かう力、人間性等』」を設定するときに押さえない「粘り強さ」「学習の調整」「実感や自信」について

- ・ 「粘り強さ」……思いや願いの実現に向かおうとしていること
- ・ 「学習の調整」…状況に応じて自ら働きかけようとしていること
- ・ 「実感や自信」…意欲や自信を持って学んだり生活を豊かにしようとしたりすることを繰り返し、安定的に行おうとしていること



なお、「実感や自信」は、「学習評価に関する参考資料」において小学校生活科の「学びに向かう力、人間性等」を評価するに当たって踏まえる必要があるとされています。

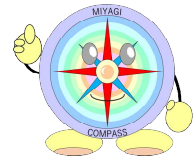
実際の生活に即した学びを行うことの多い特別支援学校（知的障害）、特別支援学級（知的障害）でも同様に考えていくことにします。以下の表を参考にしてください。

○「② 主体的に学習に取り組む態度の具体」と「② 児童生徒に身に付けてほしい『学びに向かう力、人間性等』」の表記例

<p style="text-align: center;">粘り強さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二度、三度と繰り返して</li> <li>・ 粘り強く繰り返して</li> <li>・ 見通しを持って</li> <li>・ 目標に向かって</li> <li>・ 手順どおりに行って</li> <li>・ 計画を確実に行って</li> <li>・ 進んで</li> <li>・ 友達のしている方に視線を向けて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進んで取り組んで</li> <li>・ 体で表して</li> <li>・ 考えをはっきりと伝えて</li> <li>・ 教師と関わりながら</li> <li>・ 友達と関わりながら</li> <li>・ 様々な人と関わりながら</li> <li>・ 自分のよさを生かして</li> </ul>
<p style="text-align: center;">学習の調整</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気持ちを落ち着けて</li> <li>・ 教師の話を聞いて</li> <li>・ 自分と友達それぞれのよさを生かして</li> <li>・ 友達の話を聞いて</li> <li>・ 友達の思いを理解して</li> <li>・ 友達の考えを理解して</li> <li>・ 教師の支援を受け入れて</li> <li>・ 友達の考えを受け入れて</li> <li>・ 友達と協力して</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手の立場を知って</li> <li>・ 自分の考えと友達の考えのよさを生かして</li> <li>・ 手本を模倣して</li> <li>・ 教師のやり方を模倣して</li> <li>・ 友達のやり方を模倣して</li> <li>・ 違った考えを参考にして</li> <li>・ 新しいことに挑戦して</li> <li>・ 自分で考えたことを活用して</li> </ul>
<p style="text-align: center;">実感や自信</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 離席せず友達のいる学習の場において</li> <li>・ いつも同じように〇〇しながら（して）</li> <li>・ 友達と仲良くしながら</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誰に対しても変わらず〇〇しながら（して）</li> <li>・ 周囲の状況に影響されることがなく〇〇しながら（して）</li> <li>・ 目標や目的を意識して</li> </ul>

〔参考〕学習評価に関する参考資料 小学校生活

知的障害のある児童生徒の実態を踏まえると、将来の自立に向けて「自分や他者、社会」について意識することが大切だと考えます。「学びに向かう力、人間性等」の目標を設定する際は、以下の目標設定要素を参考にしてみてください。



○ 「㊦ 児童生徒に身に付けてほしい『学びに向かう力、人間性等』」の目標設定の要素

<p>自分自身に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを理解しようとする。</li> <li>・ 自分の意思で、目標を持って課題の解決に向けて取り組もうとする。</li> <li>・ 自己の生き方を考え、夢や希望などを持つようとする。</li> </ul>
<p>他者や社会との関わりに関する こと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。</li> <li>・ 自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けて取り組もうとする。</li> <li>・ 進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組もうとする。</li> </ul>